

第83回メーデー

はたらく仲間の要求を掲げ、各地で開催



日比谷野外音楽堂、会場中央を国労が占める

日比谷メーデーが、5月1日に開かれ、約8000人が参加し、全原発の廃炉や非正規労働者の均等待遇を実現しようとアピールした。

日比谷メーデー

5月1日、第83回メーデーが各地で開催された。原発問題、消費税、TPP問題やJALの不当解雇撤回をはじめとした要求を掲げ、歴史と伝統の上にたつた開催となった。

れ、「人の生命より資本の利潤を優先」と批判し、脱原発社会に向けて総力を上げようと呼びかけた。また、自民党や大阪維新の会による憲法改悪の動きに対しても警戒すべきと訴えた。

日本航空不当解雇撤回裁判の山口宏弥団長（乗員）は、3月の東京地裁判決を批判し、「この解雇はたたかう労組つぶしだ」「クビ切り自由な社会にしてはならない」と述べた。新幹線地本からは33名が参加した。

静岡中央メーデー

静岡中央メーデーは、静岡・駿府公園東御門で開催され400名が結集した。国労は、静岡地区（中部地区労を含む）30名、沼津地区40名、浜松地区7名などが参加した。



静岡・駿府公園からのデモ行進

実行委員長の林氏は「労働者・国民が団結してたたかい、消費税増税阻止・TPP参加反対・原発のない日本などの要求を実現させよう」と訴えた。

「メーデー宣言」・「浜岡原発の永久停止・廃炉、自然エネルギーへの転換を求める決議」などが採択され、繁華街をデモ行進しアピールした。

中央メーデーの他、沼津市では東部地区、浜松市では西部地区メーデーが開催され、それぞれに多くの組合員が参加した。

愛知県中央メーデー

名古屋地本内の各県・地域でメーデーが開催され、国労の旗を掲げ多くの組合員が参加した。

愛知では、名古屋市・中区の白川公園で第83回愛知県中央メーデーが開かれ、4000人が参加した。集会では、JAL不当解雇を闘う乗務員・客室乗務員の二人の原告が舞台上に並び、不当解雇撤回を訴えた。

国労名古屋地本は「JAL不当解雇撤回愛知の会」の一員として、JAL不当解雇原告団と共に白川公園入り口で、用意したビラをまき、集会参加者に支援を訴えた。

メーデー後には、名古屋国鉄会館で懇親会が開かれ、JAL不当解雇裁判原告の森本さんも参加し、交流を深めた。参加者からは、JAL不当解雇撤回争議へのカンパ17、013円がその場で集まり、手渡され、労働者の連帯、闘うものへの激励が広がる交流会となった。

三重県では、三重県中央メーデーが津観音公園で開催され350名が集結し、国労三重支部も参加した。

一宮・豊橋・安城・恵那・津川・岐阜など、各地のメーデーに国労からは地区労の構成団体役員として積極的に参加した。

入院、地震、火災、交通事故… 一度も経験しない人はいない。

自分の身に起こってからでは遅いのが災害です。
何事も備えあれば憂いなし。
あなたや家族の幸せを自然災害や人災から守るために、
しっかり組み合わせて幅広く保障します。



家族の幸せを災害から守る

火災共済/地震風水害共済/交通災害共済/生命共済/入院共済

契約引込団体：新海安田生命保険株式会社

4/22～24

ミニSL乗車で被災者を激励

東日本大震災の宮古・大船渡・釜石市で

東日本大震災の被災者を激励する目的で「一よみがえれ三陸鉄道！被災地激励、ミニSL運転実行委員会」主催のミニSL運転会が被災地の宮古、大船渡、釜石で各1日の日程で、4月22日から24日に開催された。静岡地本と新幹線地本からOBを含め7名参加、盛岡地本をはじめ地元自治体や学校やNPO法人や三陸鉄道の協力もあり、運転会は子供からお年寄りまで多くの人に夢と生きる希望を与えるものとなった。

1日目・宮古市

宮古市の宮古小学校で開催された運転会は、事前打合せで市の広報に記事を書いていただき、日曜日で好天にも恵まれ、小さい子供からお年寄りまで多

くの人が集まり大成功を納めました。

楽しむ子供達を写真に収めるなど大人にも楽しめるものとなりました。

運営には、盛岡支部の執行委員と宮古分会から5名の組合員も参加。準備から片付けまで、様々な場で力を発揮していただきました。

2日目・大船渡市

大船渡では、あいにくの雨に関わらず、市内の保育園児や小さい子供連れの家族が集まりました。

三鉄盛駅（運休中）の待合室を地域や旅行者のために開放し「ふれあい待合室」を開設して

いるNPOの方々にも協力をいただきました。

ここでも、盛駅と気仙沼駅の国労組合員が全面的に協力してくれました。

3日目・釜石市

釜石市内の平田（へいた）小学校では、前日の雨の影響でグランドは水浸しのため、急きよ学校の玄関脇を利用しての開催となりました。

桜の時期と重なり、SLとの風景はいいもので、子供たちの楽しそうな笑顔が何よりも印象的でありました。校長先生をはじめ多くの教職員の方に機材の積み下ろし、撤収をお手伝いいただきました。

鉄道の早期復旧は、復興の礎

参加した住民の中には「仮設に暮らす友人から聞いて参加した。生きる希望が湧いた」と話

東海本部ホームページ 5月から閲覧可

東海本部が開設したホームページでは、機関紙「国労東海」をはじめ、交渉情報や貨物の情報を掲載し、文化活動などのページも設けた。

今後様々な情報の発信を行い、組合員など、多くの仲間タイムリーな情報発信の場とする。

歌声や写真、スポーツなどの文化活動も掲載する予定で、組合員の皆さんからより多くの情報の提供を求めている。

文化スポーツやレク活動での掲載を希望する場合は、ビラなどを作成し、データーでアドレスに送ることになる。

なお、交渉情報のページは、組合員用で旅客、貨物ともに掲載され、ユーザー名、パスワードを入れて閲覧となる。

パスワードは、指示文章記載

ホームページURL <http://www.kokurotokai.com/>

してくれた人もいました。このミニSLの運転会は三陸鉄道の復興と住民の足を早期に復旧させようとの意味もあり、未だに完全復旧には厳しい中で奮闘する三陸鉄道の社員や地域の住民や自治体は「鉄道の早期復旧は復興の礎」として活動していることを強く感じました。

今回、宮古から大船渡に向かう海岸線の港町を見て津波の恐ろしさを、まざまざ見せつけられました。三陸に行く前までは「何とかなるのではないのか」と思っていました。

しかし、テレビなどのマスコミ情報で知る状態とは、まったく

く違い、私たち被災地を見て来た人が、周りの人に現状を訴える事、多くの人が、被災地を訪問して現状を直視する事が大切だと感じました。

今回、多くの人々に支えられながら、ミニSLの運転会を開催することができ、一同感謝の気持ちでいっぱいです。

そして、少しでも笑顔と希望を届けることができたかと思っています。

これからそれぞれが出来る支援をしていくことが大切だと痛感しました。

（静岡支部 中村 正 報告）

「がん」の保障			「生きる」を創る。Aflac		
《生きるためのがん保険Days(デイズ)》			生きるためのがん保険DAYS(デイズ) スタンダードプラン		
保険期間：終身(抗がん剤治療特約は10年更新) 契約年齢：0歳～80歳、スタンダードプラン 入院給付金日額10,000円の場合			◆月払保険料(団体取扱) (2011年4月1日現在) 入院給付金日額10,000円 定額タイプ保険料 払込期間：終身(抗がん剤治療特約は10年更新)		
初めて診断確定されたとき	がんの場合	一時金として 100万円	35歳	45歳	55歳
	上皮内新生物の場合	一時金として 10万円	男性	3,656円	5,608円
入院したとき	入院給付金	1日につき 10,000円	女性	3,734円	5,274円
通院したとき	通院給付金	1日につき 10,000円		6,864円	9,048円
手術したとき	手術治療給付金	1回につき 20万円	<抗がん剤治療特約>の更新後の保険料は更新時の年齢・保険料率によって決まります。		
放射線治療を受けたとき	放射線治療給付金	1回につき 20万円	<募集代理店> AF007-2011-0186 4月25日		
抗がん剤治療を受けたとき	抗がん剤治療を受けた月ごとに 1カ月	10万円 (すべての保険期間を通じて通算600万円まで)	アベニール株式会社 TEL: 03-3437-6810 FAX: 03-3437-6822		
(上皮内新生物は対象外)	抗がん剤治療給付金	1カ月 5万円	〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5交通ビル3F		
			<引受保険会社> アフラック 東京第三法人営業部		
			〒163-0456 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル		
			当社保険に関するお問い合わせ・各曜お手続き		
			コールセンター 0120-5555-95		
プレミアムサポート			訪問面談サービスと専門医紹介 (このサービスは、株式会社 法研が提供するサービスです)		
●詳しくは、パンフレット(契約概要)をご覧ください。					